送りがなプリント はってん①（て・たの かたち）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／うごく ことばの て・た形（4／5）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい あめの ひに かさを さして いく。

差 して

れい きのうの しあいで あいてに やぶれた。

敗 れた

考え方

① もとの かたちに もどす

② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける

③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く

	れい1	れい2
①	さす	やぶれる
↓	↓	↓
②	差**す**	敗**れる**
↓	↓	↓
③	差**して**	敗**れた**

線の ことばの かたちに なるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) おとうさんは みせで はたらいて いる。

働 ＿＿＿＿

(2) あかちゃんが よなかに ないた。

泣 ＿＿＿＿

(3) としょかんで ほんを かりて きた。

借 ＿＿＿＿

(4) あめの ひが なんにちも つづいた。

続 ＿＿＿＿

(5) つくえに かばんを おいて ある。

置 ＿＿＿＿

(6) おかあさんに でんごんを つたえた。

伝 ＿＿＿＿

(7) しおを すこし くわえて みる。

加 ＿＿＿＿

(8) ひが にわを あかるく てらして いる。

照 ＿＿＿＿

(9) ともだちが たのしく わらって いる。

笑 ＿＿＿＿

(10) かみを はんぶんに おった。

折 ＿＿＿＿

(11) くつの ひもを かたく むすんで いる。

結 ＿＿＿＿

(12) とりが そらを とんだ。

飛 ＿＿＿＿

できたら：こたえを 声に 出して 読み、線の ことばと 同じ 読みに なるか たしかめよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント はってん①（て・たの かたち）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／うごく ことばの て・た形（4／5）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい あめの ひに かさを さして いく。

差 して

れい きのうの しあいで あいてに やぶれた。

敗 れた

考え方	れい1	れい2
① もとの かたちに もどす	さす	やぶれる
② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける	↓ 差す	↓ 敗れる
③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く	↓ 差して	↓ 敗れた

線の ことばの かたちに なるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) おとうさんは みせで はたらいて いる。

働 いて （もと：働く）

(2) あかちゃんが よなかに ないた。

泣 いた （もと：泣く）

(3) としょかんで ほんを かりて きた。

借 りて （もと：借りる）

(4) あめの ひが なんにちも つづいた。

続 いた （もと：続く）

(5) つくえに かばんを おいて ある。

置 いて （もと：置く）

(6) おかあさんに でんごんを つたえた。

伝 えた （もと：伝える）

(7) しおを すこし くわえて みる。

加 えて （もと：加える）

(8) ひが にわを あかるく てらして いる。

照 らして （もと：照らす）

(9) ともだちが たのしく わらって いる。

笑 って （もと：笑う）

(10) かみを はんぶんに おった。

折 った （もと：折る）

(11) くつの ひもを かたく むすんで いる。

結 んで （もと：結ぶ）

(12) とりが そらを とんだ。

飛 んだ （もと：飛ぶ）

つまずきやすいところ

働て・泣た のように、もとの 形で 送る 字まで 落とす まちがいが 多い。
もとの 形を 声に 出して、送りがなの はじまりを たしかめさせます。
採点：線の はんいだけで よい（あとに つづく ことばまで 書いても 送りがなが 正しければ 正）。

いちごドリル プリント